

「おまめちゃん」

巡回学級文庫通信 第51号 2010年12月

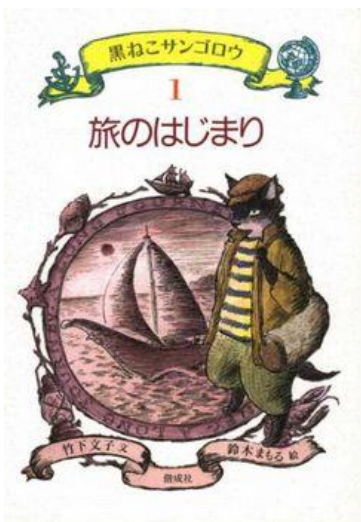
少しずつ読んで、長い物語が楽しめる本

小学校3年生から4年生ぐらいになると、本を読むのが楽しくなってきて、どんどん読めるようになってきます。今月は、1冊で読んでも面白くて、その続きがどんどん読みたくなくて、読んでいくと、長い長い物語が楽しめる、そんな本を紹介します。

はじめは、「黒ねこサンゴロウ旅のはじまり」です。ぼくのなまえはケン。サンゴロウという名の黒いねこにあい、失われたうみねこ族の宝を見つけることになった。なにしろ手がかりはもうぼろぼろになった紙に書かれた地図だけ。宝はほんとうにあるのだろうか。サンゴロウはあると信じている。

次は、「なん者ひなた丸ねことんの術の巻」です。にん者ではなく、なん者とは何でしょう。なん者というのは、にん者のみならい。にんじゃになるしゅぎょうちゅうです。ねことんの術しか使えないなん者のひなた丸が、となりの国のようすをさぐりに行って、となりの国のものすごいにん者とたいけつします。

最後は、「トガリ山のぼうけん風の草原」です。トガリネズミの若者トガリィは、トガリ山のとっぺんめざして出発した。風が吹く大草原で出会ったのは、テントウムシのテント、一人前のシオカラトンボ、トノサマバッタのトノサマ、悲しい岩ザル。トガリィの大冒険の物語。



「黒ねこサンゴロウ
旅のはじまり」
竹下 文子 作
偕成社



「なん者ひなた丸
ねことんの術の巻」
斉藤 洋 作
あかね書房



「トガリ山のぼうけん
風の草原」
いわむら かずお 作
理論社

「おまめちゃん」

じゅんかいかんがくきゅうぶんこつうしん だい ごう ねん がつ
巡回学級文庫通信 第52号 2011年1月

にほん
日本のファンタジーたつみや章

ファンタジーというのは、古くから伝わる神話や伝説・民話などをもとにしている物語
です。自分の生まれた国に愛着と誇りを持つことは大切です。あなたの国はすてきね。で

も私の国もすてきなよ。そう心から言える人こそが、本当の国際人になれるのではない
か、そういう物語を書きたい、とたつみや章は言っています。

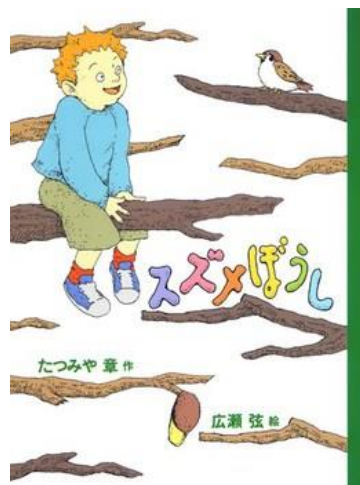
はじめは、「月神の統べる森で」です。はるか太古の昔、海からきたヒメカカの民におそわれたムラの
人々は流亡の旅に出た。途中、ムラの若き長アテルイと巫者シクイルケは、みどり色の目をもつ少年ポ
イシュマと運命的な出会いをする。縄文時代を舞台に人々の愛と闘争を描くファンタジー。

次は、「スズメぼうし」です。公園で見つけた、茶色くてふわふわのヘンなぼうし。かぶってみた
たん、ヒロシのふしぎな冒険がはじまった。スズメになったヒロシが、鳥の世界で出会った仲間たち。

最後は、「イサナと不知火のきみ」です。霊力を持つ海の民の娘イサナと、父を海で亡くしたモリ撃ち
の名手クレ、そして不知火の海を支配する竜一族の最後の生き残り、ヒコナ。不知火の海を恐怖と
悲しみで汚すものに、彼らは敢然と立ち向かう！



「月神の統べる森で」
たつみや 章 作
講談社



「スズメぼうし」
たつみや 章 作
あかね書房



「イサナと不知火のきみ」
たつみや 章 作
講談社

「おまめちゃん」

じゅんかいかいがきゅうぶんこつうしん だい ごう ねん がつ
巡回学級文庫通信 第53号 2011年2月

しょうがっこう ねんせい ひと
小学校1・2年生の人へ

こんげつ しょうがっこう ねんせい よ じ ほん
今月は、小学校1・2年生におすすめの、読みやすくてももしろい、字のおおきな本を

しょうかい としよしつ ちい ねんせいよう ほん
紹介します。図書室では、小さい黄色いシールをはって1・2年生用の本をわけておいて
あります。

はじめは、「大どろぼうとうちゅう人のポップコーン」です。まよなかに、ごてんのような家の前で気を失ってしまった、どろぼうのどんぺいと、くろぼし巡査。気がついたときは、なにかあやしげな部屋の中。ここはどこ！？ あわてる2人の前にあらわれたのは、ぎんいろのからだにぎんいろのかおのうちゅうじん…。

つぎは、「ソクラテスほえる」です。ソクラテスはサクラこうえんにすんでいるノラネコです。こわいかおをしているけど、ことばだってしゃべるとてもかしこいネコです。そしてぼくたちはしんゆうになった、とおもったんだけどなあ。

さいごは、「キャベたまたんていなぞのゆうかいじけん」です。キャベツビルやジャガイモだんち、ニンジンどおりのある町に、子どもがさらわれるじけんがはっせい！ じょしゆのトマトちゃんやじゃがバタくん、ともだちのダイコンけいぶ、カボチャはかせ、ゆかいななかまをひきつれて、キャベたまんていがそうさにのりだした！！



「大どろぼうと
うちゅう人のポップコーン」
山脇 恭 作
偕成社



「ソクラテスほえる」
山口 夕オ 作
岩崎書店



「キャベたまたんてい
なぞのゆうかいじけん」
三田村 信行 作
金の星社

「おまめちゃん」

巡回学級文庫通信 第54号 2011年3月

大河ドラマのように

今日は、戦争の醜さや愚かさ、平和への強い願いをこめて書かれた長い長い物語を

紹介します。大河ドラマのように、歴史の中で1人ひとりが抱えている、愛と憎しみ、善

と悪、嘘と真実、弱さと強さといった内面の葛藤をみつめ、それでも強く生きていこうと

する人物を描きだしています。大人になっても、何回も読み返してみたい本です。

はじめは、「ドーム郡ものがたり」「虹への旅」「真実の種、うその種」のドーム郡シリーズ3部作です。古い時代、ある地方にあったドーム郡という幸せな場所に起こった危機を、一人の少女が救っていくという物語から始まる、壮大なファンタジー。

次は、「獣の奏者」です。獣ノ医術師の母と暮らす少女・エリン。ある日、戦闘用の獣である闘蛇が何頭も一度に死に、その責任を問われた母は処刑されてしまう。孤児となったエリンは蜂飼いのジョウンに助けられ暮らすうちに、天を翔ける王獣と出会い…。

最後は、「十二国記」です。「あなたは私の主、お迎えにまいりました」学校にケイキと名のる男が突然、現われて、陽子を連れ去った。海に映る月の光をくぐりぬけ、たどりついたところは、地図にない国。そして、ここで陽子を待ちうけていたのは、のどかな風景とは裏腹に、闇からおどりでる異形の獣たちとの戦いだった。



「ドーム郡ものがたり」
芝田 勝茂 作
小峰書店



「獣の奏者」
上橋 菜穂子 作
講談社



「十二国記」
小野 不由美 作
講談社

「おまめちゃん」

巡回学級文庫通信 第55号 2011年5月

ブックトークのすすめ

ブックトークとは、1つのテーマにそって、いろいろな本を紹介することをいいます。

河南町立中央公民館図書室の司書が、図書室の本の中から、みなさんに読んでほしいなど

思うものを取り上げていきます。今月は「ひみつシリーズ」の本を紹介します。

最初は、「食べ物のひみつ」です。コーラはどうしてあわがでるの？ガムはどうしてのびるの？小学生に人気の食べ物、身近な食べ物のひみつや、日本の食べ物の工夫や知恵、世界の食べ物の紹介など、知りたいことがいっぱい、楽しく読める食べ物まんが百科。

次は、「からだのひみつ」です。食べたものや飲んだものはどこへいくの？ どうしたらもっと背が伸びる？ むねがドキドキするのはなぜ？ そんな疑問から、病気が治る仕組みや男女の体の違いまで、まんがで楽しく読めます。

最後は、「科学のひみつ」です。夕やけはなぜ赤いの？水にうくものと、しずむものがあるのはなぜ？ 光・熱・音・力など、ものの性質に分けて、身近な科学の現象をまんがや写真、イラストでわかりやすく解説。ほとんどのページに、知って得する「まめちしき」入り。



食べ物のひみつ
学研



からだのひみつ
学研



科学のひみつ
学研

「おまめちゃん」

じゅんかりがっきゅうぶんこつうしん だい ごう ねん がつ
巡回学級文庫通信 第56号 2011年6月

どうやってできるの？

はちみつはどうやってできるの？トイレットペーパーはどうやってできるの？今月は

さまざまなものづくりの現場を案内し、子どもたちのどうして？なぜ？という疑問に

答える本を紹介します。

最初は、「はちみつ」です。おやつはあつあつホットケーキ。こんがり焼きあがったら、なにはなくとも「はちみつ」でしょ！あまーいはちみつをとろーりたっぷり。いただきまーす。こんなにおいしいはちみつ、いったい何からできているのかな？

次は、「ごはん」です。たきたてのあつあつほかほかごはん。つやつやひかってとってもおいしそう。いただきまーす。たった1つぶのお米から、何百つぶのおこめがとれるんだって。いったいどういうことなのかな？

最後は、「トイレットペーパー」です。まいにち使うトイレットペーパー。ないととっても困るよね。ぐるぐる長い紙だけど、いったいだれが巻いているの？水にとけるなんて、とっても不思議。トイレットペーパーって、どうやってつくるのかな？



はちみつ
小野 正人 監修
ひさかたチャイルド



ごはん
小松 光一 監修
ひさかたチャイルド



トイレットペーパー
中須賀 朗 監修
ひさかたチャイルド

「おまめちゃん」

じゅんかいかんがきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第57号 2011年7月

ホタル

ホタルをみたことはありますか？田植えが終わった初夏のいまごろに、田んぼや小川の
きれいな水辺で光を点滅させて舞っています。きれいな水がなければ生きられないホタル、
近くでもたくさん見れるようになってほしいですね。

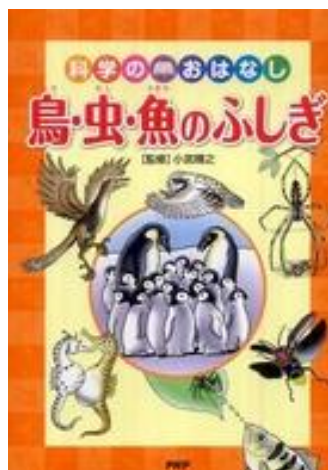
最初は、「ホタル」です。夜になると美しく光るホタル。水辺を飛びかうその光は、日本人の心に
深くしみこんでいます。オスとメスの出会い、産卵、成長の様子など、ホタルの生態やからだのしくみ
について写真でくわしく解説します。

次は、「鳥・虫・魚のふしぎ」です。ペンギンは海の中で羽ばたいて泳ぐ？ホタルはどうして光る
の？タツノオトシゴのおすは子どもを産む？鳥・虫・魚たちの生態やくらしについて、気になる
疑問をわかりやすく解説します。

最後は、「水生昆虫大集合」です。タガメ、アメンボ、ゲンゴロウ…。水中で生活するためにさま
ざまな姿に進化した水生昆虫の、特徴的かつ魅力的な彼らの姿や生態を豊富な写真で紹介します。



ホタル
栗林 慧 写真
リフレリオ出版



鳥・虫・魚のふしぎ
小宮 輝之 監修
PHP



水生昆虫大集合
築地 琢郎 作
誠文堂新光社

「おまめちゃん」

じゅんがいがっきゅうぶんこつうしん だい ごう ねん がつ
巡回学級文庫通信 第58号 2011年9月

みず

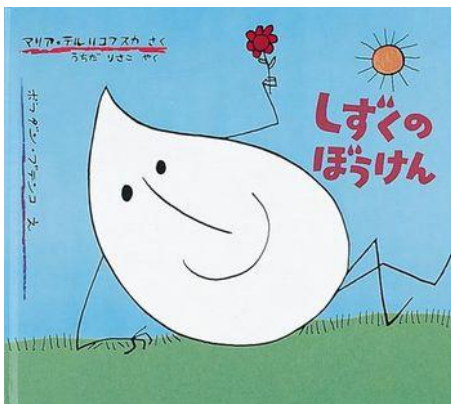
わたしたちの ^{からだ なか} 体の中には ^{みず} たくさんの水があります。 ^{ひと} 人の ^{はんぶんいじょう} からだの半分以上は ^{みず} 水でできています。わたしたちは ^{みず} たくさんの水を使います。 ^{いえ} 家でわたしたちが ^{いちにち} 一日に ^{つか} 使う ^{みず} 水は、 ^{だい} だいたい ^{ひとり} ひとり ²⁴² 242 ^{リットル} リットル、 ² 2 ^{リットル} リットル入りの ^{ペットボトル} ペットボトル ¹²¹ 121 ^本 本分だそうですよ！

^{こんげつ} 今月は ^{たいせつ} 大切な ^{みず} 水についての ^{ほん} 本を ^{しょうかい} 紹介します。

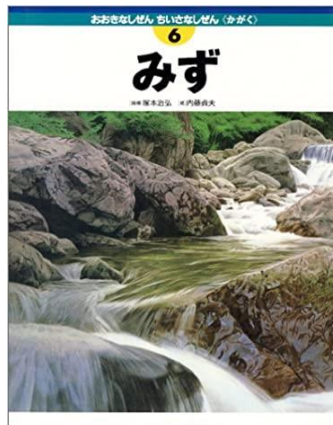
^{さいしょ} 最初は、「しずくのぼうけん」です。ある ^{すいようび} すいようびの ^{こと} こと ^{だった} だった ^{むらの} むらの ^{おばさん} おばさんの ^{バケツ} バケツから ^{ぴしゃん} ぴしゃんと ^{みず} みずが ^{ひとしずく} ひとしずく ^{とびだして} とびだして ^{ながい} ながい ^{たびに} たびに ^{でた} でて ^{ひとりぼっち} ひとりぼっちで ^{たびに} たびに ^{でた} でて

^{つぎ} 次は、「みず」です。 ^{のど} のど ^が が ^{かわいた} かわいた ^{とき} ときに ^の の ^{むすい} むすい、 ^{とても} とても ^{おいしい} おいしい ^ね ね。 ^{みず} みず ^{って} って ^{いつ} いつ ^{どこ} どこ ^{から} から ^{くる} くる ^の の ^{かな} かな。 ^{まち} まちに ^{ふる} ふる ^{あめ} あめ、 ^{やま} やま ^に に ^{ふる} ふる ^{あめ} あめ…。 ^{みず} 水の ^{なが} なが ^れ れ ^を を ^{たど} たど ^{って} って ^{みま} みま ^し し ^{ょう} しょう ^じ じ ^{ょう} しょう ^{かい} かい ^も も ^{しょうかい} しょうかい ^{します} します。

^{さいご} 最後は、「^{てん} 天からの ^{おくりもの} おくりもの」です。 ^{ひと} 人が ^い い ^{生きて} 生きて ^{いく} いく ^{のに} のに、 ^{どう} どう ^{しても} しても ^{ひつよう} ひつよう ^な な ^{のが} のが ^{みず} みず ^{です} です。 ^{とち} 土地を ^{かい} かい ^{こん} こん ^{する} する ^{にも} にも、 ^{いえ} いえ ^を を ^た た ^{てる} てる ^{にも} にも、 ^{みず} みず ^が が ^{ひつよう} ひつよう ^{です} です。 ^{いど} いど ^を を ^ほ ほ ^{ると} とき、 ^{どこ} どこ ^を を ^ほ ほ ^{れば} ば ^{いい} いい ^{のか} のか ^を を ^お お ^し し ^{えて} くれる ^{ひと} ひと ^が が ^い い ^{ます} ます。 ^{そう} そう ^{いう} いう ^{ひと} 人は、 ^{ちか} 地下 ^の の ^{みず} 水の ^あ あ ^り り ^か が ^わ わ ^か かる ^の の ^{です} です。



しずくのぼうけん
マリア・テルリコフスカ 作
福音館書店



みず
塚本 治弘 指導
フレーベル館



天からのおくりもの
ジャクリーン・マーティン 作
BL出版

「おまめちゃん」

じゅんがいかつきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第59号 2011年10月

ごちそういっぱい！

ことしの夏もあつかったですね。やっと涼しくなってきました。秋です。スポーツの秋、お祭りの秋、芸術の秋。そして、なんといっても、ごちそういっぱい食べたい食欲の秋です！今月は、ごちそういっぱい、よむとおなかがすいちゃう本を紹介しします。

最初は、「ワニーさんのおまけつきレストラン」です。いま人気のワニーさんのレストランでは、すべてのメニューにおまけがついてきます。しかもメニューは毎日変わります。それが人気のひみつ。今日もたくさんのお客さまがご来店。さて、今日のメニューはなんでしょう？

次は、「ゼラルダと人喰い鬼」です。むかしむかし、あるところにひとりぼっちの人喰い鬼がいました。朝ごはんに子どもを食べるのが大好き。その人喰い鬼が農家の娘ゼラルダにおいしい料理を食べさせてもらい、子どもを食べることなんかすっかりわすれてしまい・・・。

最後は、「続月あかりのおはなし集」です。ほっかほかのクリスマスのごちそう、お月さまへとんでいったビー玉、おじいさんが背負った春いっぱいのかごのおはなし…。そうそう、虹が川でつれるって、知ってましたか？ あたたかくてふしぎな5つのおはなしです。



ワニーさんのおまけつき
レストラン

岡本 一郎 原案
いもとようこ 文・絵
ひかりのくに

ゼラルダと人喰い鬼

トミーウンゲラー 作
評論社

続月あかりのおはなし集

アリソン・アトリー 作
小学館

「おまめちゃん」

じゅんがいかっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第60号 2011年11月

たねがいっぱい

まいにち食べているごはんは、イネのたねをたいたものです。パンはムギのたねからつくります。とうふやしょうゆやみそは、ダイズのたねからつくります。どんぐりはブナというしゅるいの木のたねです。わたしたちのまわりには、たねがいっぱい！。

最初は、「タネの大図鑑」です。植物のタネは、しゅるいによって、大きさも色もちがいます。根や芽をだすばしょをもとめて、空をとんだり、どうぶつにくっついたりして旅をするタネもあります。さまざまな植物の写真や図をみながら、タネのふしぎにふれてみましょう。

次は、「ポーリーおはなのたねをまく」です。ねずみの女の子ポーリーが、旅行へ出かけるおじいちゃんからたのまれた花のたね。「きれいな花がさくころ、かえってくるよ」と言われたポーリーは、毎日だいに水をやりますが、あるひおはなのつぼみが食べられてしまったのです。

最後は、「ぶたのたね」です。はしるのがとてもおそいおおかみがいた。どんなにおそいかというと、ぶたよりもおそい。だからいちどもぶたをつかまえたことがない。いちどでいいからぶたをたべてみたいおおかみは、きつねはかせから「ぶたのたね」をもらった。



タネの大図鑑
サカタのタネ 監修
PHP研究所



ポーリーおはなのたねをまく
オーザリー・ルートン 作
PHP研究所



ぶたのたね
佐々木 マキ 作
絵本館

「おまめちゃん」

じゅんがいかっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第61号 2011年12月

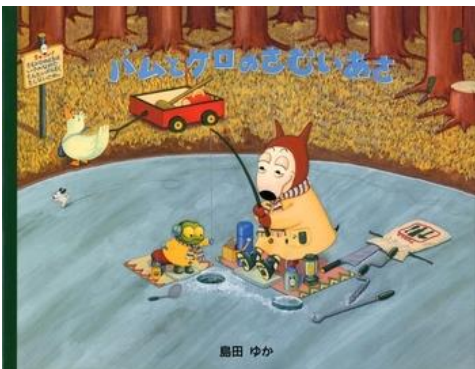
こころがふんわりあたたかい^{ほん}本

だんだんさむくなってきましたね。さむいときには、あたたかいものがいちばん。ほかほかおなべ・おでん・ちやわんむし。あつあつホットケーキ・ココア・ぶたまん。あたたかいものを^た食べて^{からだ}身体があたたまったら、^{つぎ}次はこころがふんわりとあたたかくなる^{ほん}本を^よ読みましょう！

^{さいしょ}最初は、「バムとケロのさむいあさ」です。きょうはとってもさむい^ひ日。こんな^ひ日はうらの^{いけ}池もきつとこおっているはず。バムとケロはスケートとつりの^{いけ}どうぐをもつて池にいきました。すると、あひるさんがこおりついているではありませんか！ふたりはいそいで^{たす}助け^だ出します。

^{つぎ}次は、「ゆきのふるよる」です。こうえんに住んでいるパーシーは、どうぶつたちととてもなかよし。あるさむい^{ふゆ}冬の^{よる}夜、みんながパーシーのあたたかいベッドをたずねてきて^{おお}犬さわぎになりました。でも^{だいじょうぶ}大丈夫。みんながびっくりするような、ステキなベッドがあったのです。

^{さいご}最後は、「ふゆねこ」です。おかあさんをなくしたばかりのちさとのもとに、もも^{いろ}色のマフラーをしたまっしろなねこがたずねてきました。「ふゆねこ」と^な名のつたそのねこは、ちさとのおかあさんからてぶくろをあむようにたのまれてやってきたといいます。



バムとケロのさむいあさ
島田 ゆか 作
文溪堂



ゆきのふるよる
ニック・バトワース 作
金の星社



ふゆねこ
かんの ゆうこ 作
こみね ゆら 絵
講談社

「おまめちゃん」

じゅんかいかぎきゅうぶんこつうしん だい ごう ねん がつ
巡回学級文庫通信 第62号 2012年1月

ことしは辰年

あけましておめでとうございます。ことしは辰年ですね。辰というのは、竜のことで

ことわざで「竜の子は小さしといえどもよく雨をふらす」「竜は一寸にして昇天の気あり」

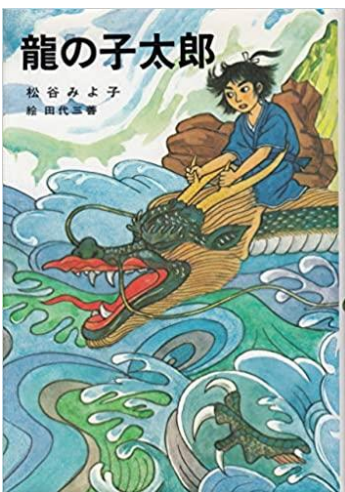
といえます。どちらも、しょうらい成功する人は、幼いころからすぐれているというたと

えです。いまは小さくても、いつか空を飛ぼう！という気持ちはもっていたいですね。

最初は、「龍の子太郎」です。まずしい村にそだった、なまけんぼうの龍の子太郎は、りゅうになつて北のみずうみにすむというおかあさんをたずねて、山こえ谷こえ、だいぼうけんの旅にでます。ながくくらしい旅のすえにおかあさんにめぐりあいますが…。

次は、「のんきなりゅう」です。見かけはおそろしいけれど、こころのやさしいりゅうと友だちになったかしこい男の子。そこへ、騎士・聖ジョージがりゅうを退治しにやってきて、男の子のおかげでりゅうがわるものでないと知りますが…。

最後は、「リリーとクイーン・ドラゴン」です。リリーは、自分は代々ドラゴンをやっつける一家の子ともだということを知ります。自分の国を守るため、ドラゴンに立ちむかう決心をしたリリーでしたが、ほんとうに戦う相手はドラゴンではなく…。



龍の子太郎
松谷 みよ子 作
講談社



のんきなりゅう
ケネス・グレアム 作
徳間書店



リリーとクイーン・ドラゴン
ナタリー・フライアー 作
学習研究社

「おまめちゃん」

じゅんがいがっぎゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第63号 2012年2月

お^{みせ}店^やさん

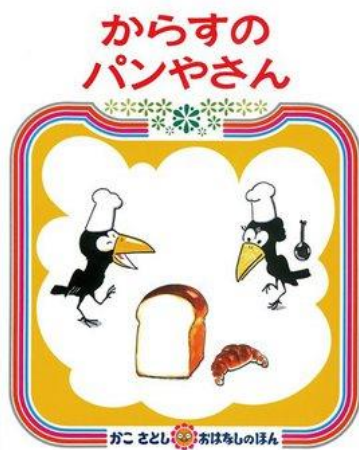
みなさんは、どこでお^か買^{もの}い物をしますか？スーパーマーケットやコンビニだと、いろいろなものがひとつのお^{みせ}店^のなかにありますね。いろいろなものを売っている、いろいろなお^{みせ}店^は見ているだけでも、た^の楽^こしくなります。今^こ月^げは本^{ほん}の中^{なか}の、ふしぎなお^{みせ}店^みを見ていきましょう。

最^{さい}初^{しょ}は、「からすのパンやさん」です。からすの町^{まち}「いずみがもり」にある、からすのパンやさん。

お^{とう}父^{かあ}さんお^{よん}母^わさんと4羽のこどものからすのみなで、た^たの^か楽^たしい形^{かたち}のパンをどっさりやきました。パンを^か買^いいにやってきたのはからすの子どもたちだけではなくて、森^{もり}は大^{おお}さわぎに…。

次^{つぎ}は、「ふしぎなキャンディーやさん」です。ブタくんが森^{もり}の中^{なか}でみつけたふしぎなキャンディーやさん。「ここにあるキャンディーをなめると、ふしぎなことがおこるんだよ」お^みせ^せのタヌキのおじさんにすすめられて、ブタくんが黄^{きいろ}色^{いろ}いキャンディーをなめてみると…。

最^{さい}後^ごは、「サラダとまほうのお^みせ^せ」です。やなぎの木^きの下^{した}のやなぎむらに、いも虫^{むし}のモナックさんがお^みせ^せをひらきました。サラダとまほうのお^みせ^せです。とてもおいしいサラダだったので、やなぎむらのみんなは毎日^{まいにち}食^たべに行きました。でも、まほうってどこにあるの？



からすのパンやさん
かこ さとし 作
偕成社



ふしぎなキャンディーやさん
みやにし たつや 作
金の星社



サラダとまほうのおみせ
カズコ・ストーン 作
福音館書店

「おまめちゃん」

じゅんかいかんがくぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第64号 2012年5月

ブックトークのすすめ

ブックトークとは、1つのテーマにそって、いろいろな本を紹介することをいいます。

河南町立中央公民館図書室の司書が、図書室の本の中から、みなさんに読んでほしいなど

思うものを取り上げていきます。今月は「花」の本を紹介します。

最初は、「はるじゃのばけつ」です。桜の花びらをばけつに集めていたたっくん。そこへ、たぬきがやってきて言いました。「そのばけつにめだかを入れようよ」 たっくんはいいなあと思いましたが、「これははるじゃのばけつなんだから、いらぬよ」とたぬきに言いました。

次は、「こうえんのシロ はるのはな」です。子犬のシロは仲間と一緒にワンワンパトロール隊として公園を守っています。春のある日、公園に不思議な花が咲きました。きらきら光るその花は、だれも見ることがない不思議な花でした…。

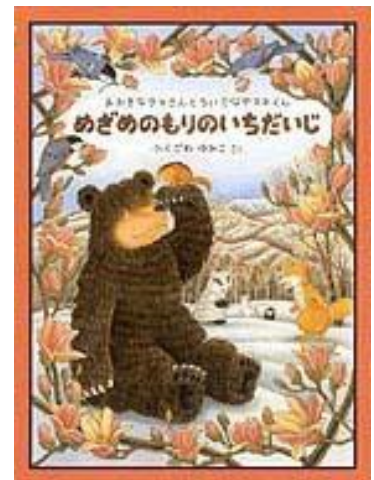
最後は、「めざめのもりのいちだいじ」です。冬眠からさめたヤマネくんは、とんでもない光景を目撃します。ミツバチさんのおうちが崖から落ちそう！ ミツバチさんを助けられるのはクマさんしかないけど、クマさんはまだ冬眠中。クマさん起きて！



はるじゃのばけつ
白土 あつこ 作
ひさかたチャイルド



こうえんのシロはるのはな
わたなべ ひろみ 作
ポプラ社



めざめのもりのいちだいじ
ふくざわ ゆみこ 作
福音館書店

「おまめちゃん」

じゅんがいがっきゅうぶんこつうしん だいごう
巡回学級文庫通信 第65号 2012年6月

カエル

たうちか 田植えが近づくと、あっちでもこっちでも、ケロケロ、ゲロゲロとにぎやかですね。世界

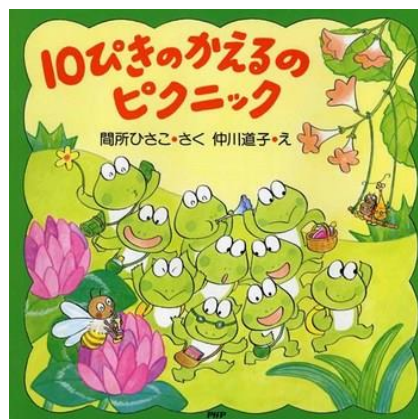
には、木の葉みみたいなカエルや、メエメエなくカエルがいるそうですよ。今月は以外と近く

にいる「カエル」の本を紹介しします。

最初は、「世界と日本のカエル大図鑑」です。ピヨコン ピタン ペットンコ。トノサマガエル ア
マガエル カエルにいろいろあるけれど・・・♪♪。と歌にもあるように、日本と世界のいろんなカエル
が大集合！木の葉みみたいなカエル、メエメエなくカエルものっています。

次は、「10ぴきのかえるのピクニック」です。10ぴきのかえるは、うきうき野原へピクニックに
でかけました。あっちもこっちも春がいっぱい。けろりんけろりん、いい気持ち。そのとき、しげみの中
から小さな泣き声が聞こえてきました…。

最後は、「かえるののどあめやさん」です。かえるののどあめやさんが開くのは雨あがりだけ。今夜も
雨つぶがいっぱい入ったおなべに、さとうや草の実を入れてまぜまぜ。でも、いつものような味にでき
ません。「なにかひとつ、たりないなあ…」 そこへやってきたのはなかよしのうさぎさん。



世界と日本のカエル大図鑑

松井 正文 監修

関 慎太郎 写真・文

PHP研究所

10ぴきのかえるのピクニック

間所 ひさこ 作

仲川 道子 絵

PHP研究所

かえるののどあめやさん

戸田 和代 作

よしおか ひろこ 絵

岩崎書店

「おまめちゃん」

じゅんがいがっきゅうぶんこつうしん だい 66 号 2012年7月
巡回学級文庫通信 第66号 2012年7月

おすし

おすしを食べるのは、どんなときですか？家族みんなで回転ずし、おひなさまのちらしずし、おまつりの日のまきずし。とろ・いか・えび・たこ・うに・いくら・・・、今月は、みんな大好き「おすし」の本を紹介します。

最初は、「まわるおすし」です。今日はお父さんの給料日。月にいちどのまわるおすしの日。ぼくたち家族は、まわるおすしを食べにきた「きあい いれて いくぞー!」。お父さんからのサインを見落とさないようにしながら、ぼくたちは好きなおすしを取っていく…。

次は、「おすしのせかいりょこう」です。「こんな暮らしはもうあきた」「回ってばかりじゃ目が回る」回転ずしのおすしたちが、ある日突然、こんなことを言い出しました。そして、おすしは店を飛び出して…。いったいどこへ行くつもりでしょう？

最後は、「さかな食材絵事典」です。みんなが家やレストラン、おすし屋さんなどでよく目にするさかなを集め、そのさかながもとはどんな形をしているのか、どういった料理法をされるのかななどを紹介する。食べ物として味わうとともに、さかなのもつ不思議な魅力に迫る絵事典。



まわるおすし
長谷川 義史 作

フロンズ新社



おすしのせかいりょこう
竹下 文子 文
鈴木 まもる 絵

金の星社



さかな食材絵事典
廣崎 芳次 監修

PHP研究所

「おまめちゃん」

じゅんかいががっきゅうぶんこつうしん だいごう
巡回学級文庫通信 第67号 2012年9月

ほし
星

みなさんは、空いっぱいにかがやく星や、天の川をみたことがありますか？大阪では、

空いっぱいの、降るような星空はなかなか見ることはできませんが、よく見れば、いくつ

もの星がかがやいています。今日は、「星」の本を紹介しします。

最初は、「星座の伝説大図鑑」です。おおぐま座、ヘルクレス座、カシオペヤ座、オリオン座…かみのけ座、くじら座、うさぎ座。おもにギリシア神話にまつわる星座の伝説を、イラストとともに紹介しします。夜空を見るのが楽しくなる、星になった神々のおはなしの本です。

次は、「ローラのおほしさま」です。星をながめるのが大好きなローラ。あるばん、空をながめっているととつぜん、星がひとつ、目のまえをおちていきました。ローラは、いそいでスリッパをはいて、おもてへ出ました。ほんとに、ちいさなお星さまがひとつ、おちています・・・。

最後は、「よぞらのほしは」です。ほっぺが冷たい、きらきら星の夜。息が白いよ、ほわっ、ほわっ。おやおや？ 雲のかいじゆうがやってきたよ。どんどんどん、きらきら星を食べていく。夜空の星は、どうなったのかな？



星座の伝説大図鑑
原 ゆみこ 監修

PHP研究所



ローラのおほしさま
クラウス・バウムガード 作
いずみ ちほこ 訳

西村書店



よぞらのほしは
村上 康成 作

フレーベル館

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう
巡回学級文庫通信 第68号 2012年10月

つき
月

♪^{つき}月があ^で出た^で出たあ～月があ^で出た～あ^{うた}よい^{ほんおど}よい♪と歌う、盆踊りの時期は
過ぎましたが、^{いま}今はお^{つきみ}月見の^{きせつ}季節です。す^{ようい}すきとお^{むし}だんご^{おんがく}用意して、虫たちの音楽を
聞^ききながら、^{つき}みんなで^{こんげつ}月を^{つき}なが^{ほん}め^{しょうかい}ましょう！今月は、「月」の本を紹介します。

最初は、「お^{つき}月さま^{あじ}って^{あま}どんな^{あじ}あじ？」です。お^{つき}月さま^{あじ}って^{あま}どんな^{あじ}味^{あま}なん^{あま}だ^{あま}ら^{あま}う。甘^{あま}いの^{あま}かな、し^{あま}よ^{あま}っぱ^{あま}いの^{あま}かな。ほ^{あま}んの^{あま}ひ^{あま}と^{あま}く^{あま}ち^{あま}食^{あま}べ^{あま}て^{あま}み^{あま}たい^{あま}ね。ある^{あま}日^{あま}、小^{あま}さ^{あま}な^{あま}カ^{あま}メ^{あま}が^{あま}決^{あま}心^{あま}し^{あま}ま^{あま}した。高^{あま}い^{あま}あ^{あま}の^{あま}山^{あま}に^{あま}の^{あま}ぼ^{あま}つ^{あま}て、お^{あま}月^{あま}さ^{あま}ま^{あま}を^{あま}か^{あま}じ^{あま}つ^{あま}て^{あま}み^{あま}よう。

次は、「お^{つき}月^{はな}さん^{はな}は^なき^なつ^なね^なが^なす^なき？」です。お^{つき}月^{はな}見^{はな}の^な花^{はな}を^なと^なり^なに^なで^なか^なけ^なた^なく^なま^なの^な子^なウ^なーフ^なは、き^なつ^なね^なの^なツ^なネ^なタ^なに、お^な月^なさん^なは、コ^なロ^なツ^なケ^なが^なす^なき^なだ^なとい^なわ^なれ^なま^なす。お^な月^なさん^なが^なほ^なん^なと^なに^なす^なき^なの^なは^な?^なき^なつ^なね^な?^なう^なさ^なぎ^な?^なく^なま?

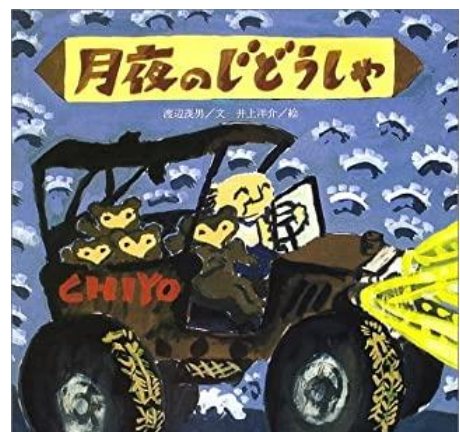
最後は、「月^よ夜^よの^よじ^よど^よう^よしゃ」です。月^よ夜^よの^よは^よま^よべ^よで^よじ^よい^よさん^よは、ハ^よー^よモ^よニ^よカ^よを^よふ^よい^よて^よい^よた。す^よると、^よた^よぬ^よき^よの^よお^よや^よこ^よが^よで^よて^よき^よた。ま^よる^よい^よめ^よだ^よま^よを^よみ^よひ^よら^よい^よて、そ^よの^よす^よが^よた^よが^よあ^よん^よま^より^よか^よわ^よい^よい^よも^よん^よだ^よか^よら、^よじ^よい^よさん^よは^よ声^よを^よか^よけ^よた。



お月さまってどんなあじ?
グレイニエツ 作
セーラー出版



お月さんはきつねがすき?
神沢 利子 作
井上 洋介 絵
ポプラ社



月夜のじどうしゃ
渡辺 茂男 文
井上 洋介 絵
講談社

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第69号 2012年11月

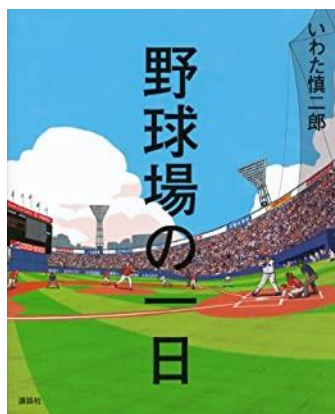
しごとば

みなさんのお父さん、お母さんはどんなおしごとをしていますか？毎日どんなことをしているんでしょう？今月は、「しごとば」の本を紹介しします。なかなかのぞくことのできない、いろいろな人のしごとばを本の中でのぞいてみましょう。

最初は、「どうぶつげんきにじゅういさん」です。じゅう医（どうぶつのお医者さん）のみずず先生のびょういんには、犬やねこから、かめ、インコまで、毎日いろいろなどうぶつがやってきます。さて、次のかんじゃさんはだれでしょう。たいへん！車にはねられたねこちゃんがやってきました。

次は、「野球場の一日」です。野球を見に行ったことがありますか？野球場にはたくさんの人たちがはたらく、いろいろな場所があります。野球場の一日をおいかけながら、どこでどんな人がはたらいっているのか、どんなはたらく車があるのかを、のぞいてみましょう。

最後は、「パパのしごとはわるものです」という本です。パパのしごとをしらべに行くと、なんとわるものレスラーだった。せいぎのみかたにやつつけられるパパなんてだいきらいだ。でも、しあいが終わったパパは、ぼくをだっこして大切なことを話してくれて…。



どうぶつげんきにじゅういさん
山本省三作
はせがわかこ絵
講談社

野球場の一日
いわた慎二郎作
講談社

パパのしごとはわるものです
板橋雅弘作
吉田尚令絵
岩崎書店

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第70号 2012年12月

サンタクロース

もう12月です。12月の別の呼び方は師走といいます。日ごろ落ち着いているお師匠さま（先生）も走るほどあわただしい月、という意味です。サンタクロースも、今ごろはクリスマスのはし、まわで走り回っているのでしょうか？

最初は、「まどから☆おくりもの」です。サンタクロースがみんなのおうちへプレゼントを届けます。窓からのぞいて、ぴったりのおくりものを届けます。ねずみさんにはしゃれた長ぐつ、ねこさんにはかわいいリボン。あれあれ、でもなんだかちょっとヘンです。

次は、「あんたがサンタ？」です。のりものよいをする、ソリからおちる、日にちをまちがえる、さぼって花火をする……。こまったサンタがいっぱいいます。ほんとに、あんたはサンタクロースなの？

最後は、「サンタのおばさん」です。今年もクリスマスイブが近づいて、毎年行われるサンタクロースの集会が開かれます。新しく加わった女性のサンタクロースを認めるかどうかで、会はおおさわぎになります……。



まどから☆おくりもの
五味 太郎 作

偕成社



あんたがサンタ？
佐々木 マキ 作

絵本館



サンタのおばさん
東野 圭吾 作
杉田 比呂美 画
文藝春秋

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第71号 2013年1月

ゆめ

あ 明けておめでとうございます。みなさんは、はつ み はつ み 初ゆめは見ましたか？初ゆめに見るといいと言われているものは、いち に さん 一ふじ二たか三なすび、といいます。ふじさんやたかやなすびのゆめってどんなのでしょうか。ことし げんき 今年も元気にがんばりましょう！

さいしょ は、「ゆめみこぞう」です。むかしあるところに、おお 大きなおやしきがあって、たくさんのひとがはたらいていたそう。お正月の二日に、だんなさなは、やしきじゅうのひとをあつめてはつ み 初ゆめを聞いたそう。でもひとりだけ、はつ み はな 初ゆめを話さないわかものがいたそう。

つぎ は、「わにのニニくんのゆめ」です。ここはアイウエどうぶつえんです。どうぶつがだいすきな、はたらきものえんちょうさんと、えんちょうさんがだいすきなどうぶつたちがなかよ 仲良くくらしています。でも、わにのニニくんは、さいきんなんだかげんきがないのです。

さいご は、「ことりだいすき」です。さとこのゆめは、とりになりたいことです。こんどうまれてくるときは、さばくのダチョウがいいかな。それともペンギン？ がいこく 外国りょこうができるツバメやハクチョウ？ うたがじょうず おしゃれでにんぎもの 人気者のとりになりたいな…とゆめみていると、あっ！ みちにことりが落ちていた。



ゆめみこぞう
望月 新三郎 文
北島 新平 絵
世界文化社



わにのニニくんのゆめ
角野 栄子 文
にしかわ おさむ 絵
クレヨンハウス



ことりだいすき
なかがわ ちひろ 作
偕成社

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第12号 2013年2月

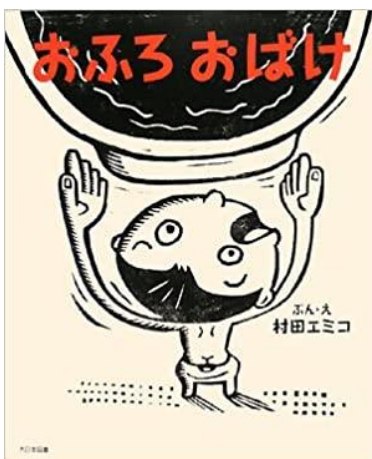
おふろ

さむいですね！2月は一年でいちばんさむい時ですね。かぜをひかないように気をつけましょう。こんな時には、あったかいおふろ。のんびりゆっくりぬくもれば、あー気持ちいい。ごくらごくら。

最初は、「おふろおばけ」です。ひとりでおふろに入るのいやだ！おばけがいるからこわいんだ！やっぱりいた。たくさんのおばけ。どうしよう、もうにげられない。でもあれ？おふろおばけとあそぶのたのしいかも…。ひとりでおふろに入るのがたのしくなる本です。

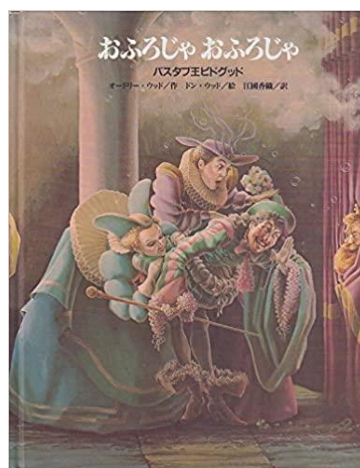
次は、「おふろじゃおふろじゃ」です。王様がおふろに入ったまま出てこなくなりました。王様をおふろから出そうと、家来やお妃さまがちえをしぼります。でも王様は食事も魚つりもおふろのなかでしちやいます。さてどうしたものやら・・・。

最後は、「おふろのなかからモンスター」です。海辺でへんなたまごを見つけたカースティ。たまごからかえたのは、きょうりゅう。大きさはうまれたての子ネコぐらい。長いくびに馬みたいな頭。イボイボがあって海ガメのようなひれとワニみたいなしっぽ。こっそり家で育てることにしたけれど、どんどん大きくなっておふろじゃせませすぎるようになってしまった。



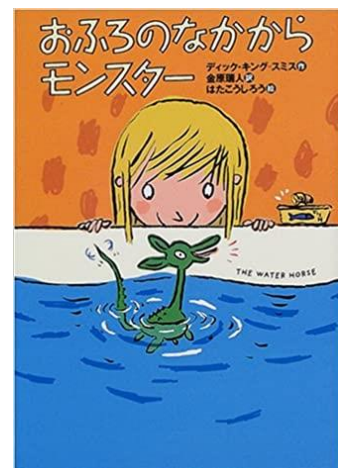
おふろおばけ
村田 エミコ 文・絵

大日本図書



おふろじゃおふろじゃ
オードリー・ウッド 作
ドン・ウッド 絵

BL 出版



おふろのなかからモンスター
ディック・キング・スミス 作

講談社

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第13号 2013年5月

ブックトークのすすめ

ブックトークとは、1つのテーマにそって、いろいろな本を紹介することをいいます。

かなんちょうりつちゅうおうこうみんかんとしよしつ ししよ としよしつ ほん なか
河南町立中央公民館図書室の司書が、図書室の本の中から、みなさんに読んでほしいなど

おも と あ こんげつ ほん なか ほん しょうかい
思うものを取り上げていきます。今月は本の中にある「本」を紹介します。

さいしよは、「ぼくはぼくのほんがすき」です。みためも好きだし、てぎわりも大好き。ぼくをいろいろなところにつれてってくれる。ほん なかにはまほうのもりがあって、すてきな花が咲いていて、大好きな友だちもたくさんいるんだ！本のせかいへようこそ！

つぎは、「おばけとしよかん」です。ある夜、おんなのこはやくベッドにはいりました。でも、ねむくなかったので、大好きな本を読むことにしました。まじよのお話を読んでいると、明かりが消えてあやしいかげが！ 本といっしょに空にとびだし、ついたところは「おばけとしよかん」。いったいここは、なんなの！？。

さいごは、「マジック・ツリーハウス 恐竜の谷の大冒険」です。アメリカ・ペンシルベニア州に住むジャックとアニーの仲良い兄妹。ふしぎなツリーハウスの中で本を見ていると、本の中の世界へ入ってしまい、着いたところは恐竜時代！！いったい、どうして！！



ぼくはぼくのほんがすき

ジェラーム 作
評論社



おばけとしよかん

メリング 作
評論社



マジックツリーハウス

恐竜の谷の大冒険
オスボーン 作
メディアファクトリ

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう
巡回学級文庫通信 第74号 2013年6月

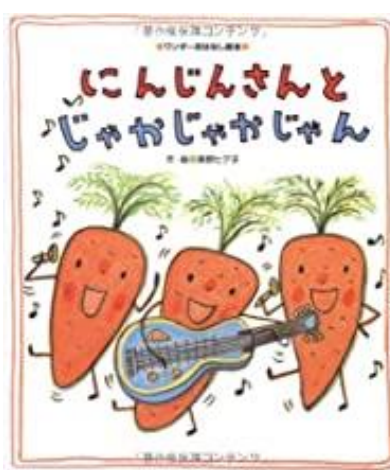
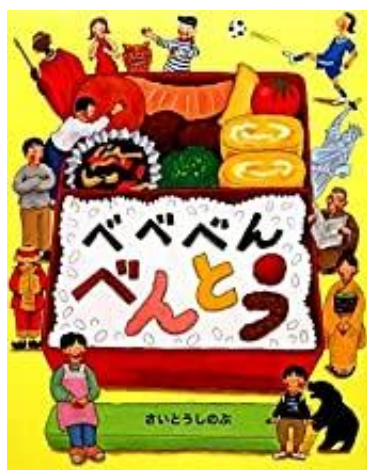
おべんとう

きょう てんき
今日の天気は、はれ？くもり？あめ？いい天気の日には、おべんとうを持って、お出かけ
けしましょう。そと た
外で食べると、とってもおいしい。こんげつ
今日は「おべんとう」の本を紹介しま
す。つく
作ってみたい、食べてみたい、おべんとういっぱい！

さいしょ
最初は、「ベベべんべんとう」です。おべんとうといえば、えんそくするとき。ぼくの好きなもんぱつ
かり入れてもらえるねん。しかもデザートつき。それからうんどう会とき。ちょーごうか！ いただき
まーす。ごちそうさまー。

つぎ
次は、「にんじんさんとじゃかじゃかじゃん」です。にんじんさん、きゅうりさん、かぼちゃさん、
さといもさんが、ころころにこにこと、やってきた。みんながはい
入っていった台所はだいどころ
はおおにぎわいのじゃ
かじゃかじゃん。いったい何をしているんだろう？

さいご
最後は、「おむすびさんちのたうえのひ」です。きょう
今日はおむすびさんちのたうえのひ。おむすび村の
しゃげさんにたらこさん、おいなり村のおいなりさんに、のりまき村のほそまきさんとふとまきさんも
てつだ
手伝いに来ました。さあ、おいしいお米ができるようにたうえをはじめましょう。



ベベべんべんとう

にんじんさんと

おむすびさんちのたうえのひ

じゃかじゃかじゃん

さいとうしのぶ 作

長野ヒネ子 作

かがくいひろし 作

教育画劇

世界文化社

PHP研究所

「おまめちゃん」

じゅんかいががっきゅうぶん こつうしん だい ごう ねん がつ
巡回学級文庫通信 第75号 2013年7月

はるかな世界へ

もうすぐ夏休み！海に、山に、海外に、どこに行こう！そんなたのしい予定がある人に

も、ない人にもおすすめの、本の中にある、はるかな世界。今月は本の中でしか行けない、

はるかな世界の本を紹介します。

最初は、「風の谷のナウシカ」です。映画がとても有名ですが、原作は全7巻の長い長い作品です。自然と科学文明の対立、文明の破壊と再生、自然破壊や戦争への批判といった内容が含まれ、じっくりと読んでほしい本です。

次は、「ハリー・ポッターと賢者の石」です。これも映画がとても有名ですが、原作は全7巻の長いシリーズです。魔法使いの少年ハリー・ポッターの学校生活や、ハリーの両親を殺害した張本人でもある強大な闇の魔法使いヴォルデモートとの戦いを描いた物語です。映画と比べながら読むのも楽しい、ぜひ最終巻「ハリー・ポッターと死の秘宝」まで読んでほしい本です。

最後は、「たそかれ」です。散在ガ池を揺るがした大騒動から24年、河童の八寸が人間の少女「麻」と暮らした夏から4年の月日が過ぎた。八寸に与えられた役目は、また里に下りていき、学校の古いプールに棲む河童「不知」を連れて帰ってくることであった…。



風の谷のナウシカ
宮崎 駿 作
徳間書店

ハリー・ポッターと賢者の石
J・K・ローリング 作
静山社

たそかれ
朽木 祥 作
福音館書店

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう
巡回学級文庫通信 第76号 2013年9月

たからもの 宝物

あなたの宝物はなんですか？海でひろったきれいな貝、山でひろったどんぐり、それとも、サッカーボールや野球のグローブ？わたしの宝物は、友だちです、という人や、家族です、という人もいます。大事にしたい、わたしの宝物。

最初は、「ぼくのコレクション」です。自然のなかで、宝さがしをしてみよう。たんぼや畑や雑木林には、宝物がたくさんかくれているよ。草花や昆虫、木の実・草の実など、自然のなかでみつけたコレクションを春・夏・秋・冬に分けて紹介しています。

次は、「小さなピスケのはじめての友だち」です。ある日、ピスケは家の近くのしげみの下で、巣から落ちたカラスの子が鳴いているのを見つけました。「夜は冷えるわ。私の家にいらっしやい」 いっしょにいただけで幸せ。ピスケのみつけた宝物のおはなし。

最後は、「これ、ぼくの宝物です」という本です。「あたしのかみの毛、切ってもいいよ」美容師をめざす弟の宗一に、自分のかみの毛を切らせてあげた姉のみかげ。しかし、そのみかげは病気によってかみの毛を失ってしまいます。



ぼくのコレクション

盛口 満 文・絵
福音館書店

小さなピスケの

はじめての友だち
二木 真希子 作・絵
ポプラ社

これ、ぼくの宝物です

山下 奈美 作
小松 良佳 絵
学研

「おまめちゃん」

じゅんかいがつかきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第77号 2013年10月

スポーツ

あき 秋です。てんたか うまこゆ あき 天高く馬肥ゆる秋といいます。あき 秋はスポーツの季節でもあります。なにかスポー
ツしていますか？ やきゅう サッカー・空手に水泳などなど……。からだ をいっぱい動かして、
いいあせ 汗かいて、きぶん 気分さっぱり！

さいしょ は、「どんまい！卓球部」です。ぶかつ のじゃまをしていたふりよう グループのふたりが卓球部ににゅうぶ 入部し
た。ぎくしゃくし、ばらばらになりかける7人。でも、なんとしても、じょしたつきゅうぶ との試合に勝って、
たいいくかん で練習できるようになると、けつい とつくん はじ 決意の特訓が始まった！

つぎ は、「ハンサム・ガール」です。わたし やなぎふたば 少年野球チームアリゲーターズのサウスポーのピ
ッチャー。パパはもと やきゅうせんしゅ プロ野球選手。でも今はそうじ、せんたく、りょうり… なんでもこなすせんぎょうしゅふ 専業主夫。ママ
はおおさか でおんしんふにん 単身赴任。バシバシ仕事しちゃうキャリアウーマン。わたしが今いちばん好きなのは、なんて
つたつて やきゅう 野球だな。

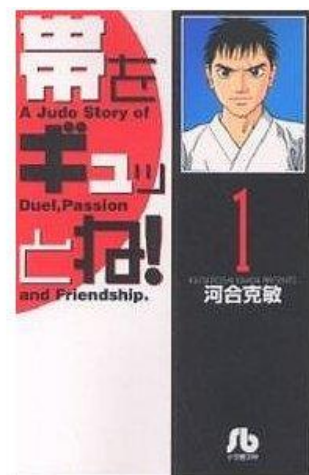
さいご は、「帯をギュッとね！」というほん 本です。じてんしゃ でじゅうどう 柔道の昇段試験の会場へと急ぐ途中で車と
せつしよくじこ 接触事故をおこしてしまったこがわたくみ 現場に居合わせたけいじ 刑事にたす 助けられたうえ、パトカーで会場まで
おく 送ってもらう。その会場でたくみ とちやく 巧の到着を待っていた杉と、いっしょ にいたさいとう 一緒にいた斉藤はパトカーで乗りつけた巧に
びっくりする。じゅうどう がおもしろくなる、とっておきのほん 本です。



どんまい！卓球部
横沢 彰 作
新日本出版社



ハンサム・ガール
佐藤 多佳子 作
理論社



帯をギュッとね！
河合 克敏 作
小学館

「おまめちゃん」

じゅんかいがっしゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第78号 2013年11月

かぼちゃ大かつやく!

とうなす・からうり・なんきん。ぜんぶかぼちゃのよび方です。にもものに天ぷら、スープやパイにかぼちゃあんのおまんじゅう。どう料理してもおいしいのがかぼちゃ。ほかに、シンデレラの馬車になったり、ハロウィーンのランプになったり。冬至の日（今年は12月22日）に風邪をひかないようにと、食べたりしますね。かぼちゃ大かつやく!

最初は、「ぐりとぐらとすみれちゃん」です。のねずみのぐりとぐらのところに、すみれちゃんが持ってきたのは、とびきり大きくてとっても固いかぼちゃ。すみれちゃんが、お母さんのいつもするやりかたで見事に割ると、かぼちゃのお料理のはじまりです…

次は、「ポポくんのかぼちゃカレー」です。ポポくんと友だちは、育てた野菜でカレーをつくることに。中身をくりぬいた大きなかぼちゃに、できあがったカレーを入れたら、カレーパーティーのはじまりです!

最後は、「ゆうやけカボちゃん」という本です。1年生になりたてのカボちゃん。はりきって、学校にかよいはじめたよ。トマトン、アボガドン、ネッギー、ジャガ、キャベッチ、ソラオ、タマ…。さあ、いろんな友だちできるかな?



ぐりとぐらとすみれちゃん
なかがわ りえこ 作
やまわき ゆりこ 作
福音館書店

ポポくんのかぼちゃカレー
ふくだとしお+あきこ 作
PHP研究所

ゆうやけカボちゃん
高山 栄子 作
武田 美穂 絵
理論社

「おまめちゃん」

じゅんかいがっしゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第79号 2013年12月

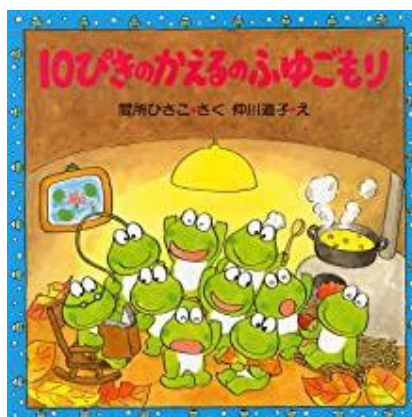
冬じたく

だんだん寒さむくなってきましたね。みんなのうちでは、あったかいセーターせーたーを着きたり、こたつでぬくぬくしたり、ねる時ときには毛布もうふをかけたりと、だんだんと冬のしたくしたくをしているでしょうね。なべやきうどんにちやわんむし、おでんにおなべ、あたたかいものを食たべると、体からだも心こころもぽっかぽか。今月こんげつは、いろんなどうぶつたちのいろんなど冬じたくほんの本です。

最初さいしょは、「くまのこミンのふゆじたく」です。くまの子ミンおんなこは女の子すえこ。末っ子でがんばりやのミンと、お兄ちゃんにいのポッタとホッタ。くまの3きょうだいちからは、力をあわせて冬ごもりのしたくふゆです。お兄ちゃんのためにセーターをあんにいでいたのに、そこへあらわれたのは…毛糸ドロボー？

次つぎは、「10ぴきのかえるのふゆごもり」です。10ぴきのかえるたちが、はじめての冬ふゆを迎むかえます。冬ふゆでも眠ねむらずにあそんでいたい10ぴきのかえるたちは、地面じめんの下したに、楽しい“ふゆごもりハウス”をつくることにしました！

最後さいごは、「クモばんぼとぎんのくつした」という本ほんです。気持ちわるいとききもちわるいらわれているなめくじのぼうやひは、ある日あるひ、やはりきらわれ者のクモのおばあさんおばあさんと出で会あいます。ふたりはクモの糸いとであんだ色とりどりのあみ物あみものをううる「クモばんぼの店みせ」で力ちからを合あわせ始はじめました…。



くまのこミンのふゆじたく	10ぴきのかえるのふゆごもり	クモばんぼとぎんのくつした
あいはら ひろゆき 文	間所 ひさこ 作	仁科 幸子 作
あだち なみ 絵	仲川 道子 絵	
講談社	PHP研究所	偕成社

「おまめちゃん」

じゅんがいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第80号 2014年1月

にほん かみ 日本の神さま

あけましておめでとうございます。今年もよろしくおねがいします。楽しいお正月をすごしましたか？初もうでには行きました？今年はどうな年にしたいですか？今月は、いろんなねがいをかなえてくれる、日本の神さまの本を紹介しします。

最初は、「みたい！しりたい！しらべたい！日本の神さま絵図鑑」です。日本の神さまたちを、楽しい絵といっしょに紹介。豊作や大漁、厄ばらい、学問、安産など、人間のさまざまなおねがいごとをかなえてくれる神さまをとりあげます。

次は、「イナバの白うさぎ」です。心のやさしいオオナムチは、いつも兄さんたちからのろまでぐずだと言われていました。兄さんたちの荷物をつめた大きなふくろを持って、浜辺を歩いていたオオナムチは、皮をはがれて泣いている白うさぎを見つけました。

最後は、「はんぴらり！」です。おばあちゃんの家で出会ったちいさな男の子が、半人前の神さまだって！？ ごく普通の小学生・たけしと、「はんぴらり」と呼ばれる半人前の神さま・鈴音丸のふしぎな物語。



みたい！しりたい！しらべたい！ イナバの白うさぎ
日本の神さま絵図鑑
松尾 恒一 監修
小松 和彦 序文
ミネルヴァ書房

西野 綾子 文
阿部 肇 絵
ひのくま出版

はんぴらり！
廣嶋 玲子 作
九猫 あざみ 絵
童心社

「おまめちゃん」

じゅんがいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第81号 2014年3月

せつぶん

2月3日はせつぶんの日です。せつぶんの夜は、ひいらぎの枝にイワシの頭をさして「ふくはうち一、おにはそと一」と言いながら、豆まきをします。わるいことは追い払って、良いことがありますようにとの願いをこめてます。今月は、せつぶんの日の主役、おにと豆のおはなしです。

最初は、「今日は節分ふくはだれ？」です。ある日、たいくつしたおにの子が、山を降りて村の大きな家に近づいた。家の中ではせつぶんの豆まきをしていて、豆をぶつけられたおにの子はあわててえんのかしたにもぐり込んだ。するとそこには、「ふく」という男がいて…。

次は、「オニたいじ」です。「おにはそと。ふくはうち」まめがとび出すと、お面をつけたおにには逃げ出した。でも、世界にはもっと悪いおにがいる。どうせなら、本物のおにを退治するぞ！ 小さなまめたちの大きな冒険のおはなしです

最後は、「泣いた赤鬼」です。人間たちと仲良くなりたい、気のいい赤おに。だが人は赤おにのやさしさがわからず逃げってしまう。腹を立てた赤おにには、訪ねてきた仲間のおに、青おにに相談する。すると青おにには、赤おにのためにある計画を立てる…。



きょうはせつぶん
ふくはだれ？
正岡 慧子 作
古内 ヨシ 絵
世界文化社



オニたいじ
森 絵都 作
竹内 通雅 絵
金の星社



泣いた赤鬼
浜田 廣介 作
浦沢 直樹 絵
小学館

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねん がつ
巡回学級文庫通信 第82号 2014年3月

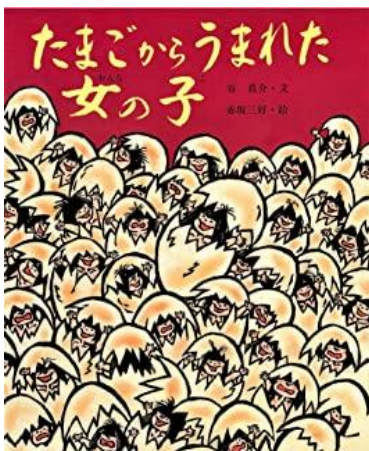
むかしばなし

3月3日にはどうしておひなさまをかざるのでしょうか？6月に、「田うえまつり」をするところがあったり、10月10日の「いのこまつり」をするところがあります。どうしてそんなまつりがはじまったのでしょうか。今月は、知っておきたい、伝えていきたい、日本の行事やむかしばなしを紹介しします。

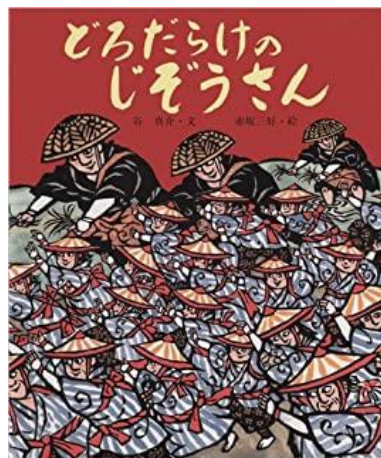
最初は、「たまごからうまれた女の子」です。むかしあるところに、お金もちのふうふがいました。くらしにはこまりませんが、子どもにはなかなかめぐまれません。ふたりはまいにち、村はずれのお宮へ行っては、子がさずかるように神さまにいのっていました。

次は、「どろだらけのじぞうさん」です。6月は田うえのきせつです。どこの村でも、おひやくしようたちは大いそがし。ある年のこと、村で田うえをはじめようとすると、たくさんの人が病気になってしまいました。村にわるい病気がはやりだしたのです。

最後は、「いのこのまつり」です。むかしある村に、さくべえという年をとったおひやくしようがいました。ある年の秋のことです。さくべえさんはおくさんと大根のていれをしていましたが、そこに大きないのししがでてきました。



たまごからうまれた女の子
谷 真介 作
赤坂 三好 絵
佼成出版社



どろだらけのじぞうさん
谷 真介 作
赤坂 三好 絵
佼成出版社



いのこのまつり
谷 真介 作
赤坂 三好 絵
佼成出版社

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第83号 2014年5月

ブックトークのすすめ

ブックトークとは、1つのテーマにそって、いろいろな本を紹介することをいいます。

河南町立中央公民館図書室の司書が、図書室の本の中から、みなさんに読んでほしいなど

思うものを取り上げていきます。今月のテーマは「植物を育てよう」です。

最初は、「ジョディのいんげんまめ」です。おじいちゃんがくれたさやいんげんの種。春がきて、夏がすぎて、秋へと季節がうつるあいだ、ジョディは豆の世話をし続けました。ジョディの庭に来てみて！

次は、「はちうえはぼくにまかせて」です。お父さんの仕事がいそがしくて、トミーは夏休みにどこへも連れて行ってもらえません。お父さんは「そのかわり、何でも好きなことをやっていいよ」といいます。そこで、トミーはご近所のはちうえをあずかり、水やりをすることにしました。もちろん、お金はいただきます。

最後は、「ティッチ」です。ティッチは小さな男の子でした。姉さんのメアリはティッチよりちよつと大きくて、兄さんのピートはずっと大きな子でした。ピートは大きなシャベルを持っていました。メアリは大きなうえきばちを持っていました。ところがティッチが持っていたのは、とても小さな種でした。



ジョディのいんげんまめ
ドイル 文
アリボーン 絵
評論社



はちうえはぼくにまかせて
ジオン 作
グレアム 絵
ペンギン社



ティッチ
ハッチンス 作・絵
いしいももこ 訳
福音館書店

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第84号 2014年6月

みつけたよ

さわやかな風が吹く、いい季節になってきました。勉強にもスポーツにもやる気が出て
きますね。みなさんの好きなものは何ですか？やりたいことは何ですか？今月のテーマは
「みつけたよ」です。

最初は、「なくしたものみつけた」です。すっかり忘れてたんだけど、ぼくいろいろなくしてたんだ。
それがぐうぜん、うらの原っぱでみつかってね……。リモコンのブルドーザーを動かしていたら、ス
コップやぼうし、ボールなんかがどんどん出てきたんだ。

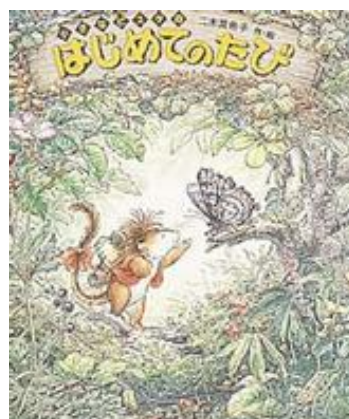
次は、「小さなピスケのはじめてのたび」です。「自分の家は自分でさがすんだよ」お父さんに言われて、
ピスケは、生まれてはじめての旅にでました。風にとばされそうになったり、大水に流されたりしなが
らも、やっとみつけたすてきなところ。

最後は、「ぼくだけのこと」です。家族の中でえくぼがあるのは、ぼくだけ。仲よし7人組でさかだ
ち歩きができるのは、ぼくだけ。そして、世界中に「ぼく」という人間は、ぼくだけ。これってすごい！



なくしたものみつけた
五味 太郎 作

偕成社



小さなピスケのはじめてのたび
二木 真希子 作

ポプラ社



ぼくだけのこと
森 絵都 作

スギヤマカナヨ 絵
偕成社

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第85号 2014年7月

なつ く 夏が来る！

だんだん暑くなってきましたね。雨がふったりやんだり。雨がいっぱい降ったら、木や草やカエルたちも元気いっぱいになります。梅雨がすんだら夏が来る！暑いときには暑さを十分楽しまなくちゃ！夏といえば海に山に、スイカにそうめん、アイスクリーム。

わす 忘れちゃいけない夏休みの宿題もね！今月のテーマは「夏が来る！」です。

最初は、「ひとくちぱくり」です。ほがらかむらのどうぶつは、みーんななかよし。きょうもそろって、のっしのっし、どすーんどすーん、によろによろ、ぴよんぴよん、ちよろちよろと、さんぽをしていると、そこへおおきな、すいかがあらわれた。さて、どうしてたべたらいいものやら。

次は、「へちまのへーたろー」です。つるのしたでぶらぶらして、女の子にきゅうりとまちがえられたへちまのへーたろーは、「やせてるせいかも」と考え、ファイトをもやして毎日毎日もりもり太ります。でも、またしてもきゅうりとまちがえられます。そこで、へーたろーは…。

最後は、「お化けの真夏日」です。暑い夏の日。お化けやしきではお化けたちがいろんな方法で涼をとっています。井戸で冷やしたスイカを食べ、お風呂で汗を流し、庭先では流しそうめん。楽しい日本の夏です。



ひとくちぱくり
木曾 秀夫 作・絵
文溪堂



へちまのへーたろー
二宮 由紀子 作
スドウ ピウ 絵
教育画劇



お化けの真夏日
川端 誠 作
BL 出版

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう
巡回学級文庫通信 第86号 2014年9月

おばけぞろぞろ

♪おばけなんてないさ♪、おばけなんてうそさ。うーん、おばけと妖怪とゆうれい。会った
ことはないけれど、近くにいるような気がします。おばけと妖怪とゆうれいはどうちがう
のかな？本の中の、それぞれのちがいを考えてみるのも、本を読む楽しみです。今月のテ
ーマは「おばけぞろぞろ」です。

最初は、「ばけものつかい」です。とある大きなお店のごいんきょさんが、古い大きなおやしきにひ
っこしてきました。ところがそこは、お化けやしきとうわさの高いおやしきだったのです。そんなこと
はおかまいなしのごいんきょさんは、出てくるお化けを働かせるわ働かせるわ・・・。

次は、「おばけパーティ」です。おばけのアンリが、ともだちみんなをおもてなし。色のきれいなカ
クテルを飲むと、みんなのからだがかクテルの色に変わり、スープを飲むとスープの色に変わる。不思議
だけど、ゆかいで楽しいおばけのパーティ。

最後は、「オバケの長七郎」です。やなぎした商店街」のはじっこ、古道具屋「へなもんや」のおや
じ、源ジイといっしょに暮らす、5歳の小さなオバケ・長七郎。ぽよんぽよんで、光ると、つめたく
なるのはできます。それに、あんこが大好き！小さなオバケがまきおこす、ゆかいな事件がいっぱい。



ばけものつかい
川端 誠 作
クレヨンハウス



おばけパーティー
ジャック・テュケノワ 作
おおさわ あきら 訳
ほるぷ出版



オバケの長七郎
ななもり さちこ 作
きむら なおよ 絵
福音館書店

「おまめちゃん」

じゅんがいかっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第87号 2014年10月

おんがくかい
音楽会

だんだん涼すずなくなってきましたね。暑い夏あつ なつの、せみの大合唱だいがっしょうが、だんだんとつくつくぼ
うしの歌うたになり、今は秋いま あきの虫むしたちの音楽会おんがくかいの季節きせつです。季節きせつのうつりかわりを感じかんていっ
て、いつか目めに見えないものを、音おとに聞こえないものを、文字もじで書かれていないものを
感じかんられるといいですね。今月こんげつのテーマは「音楽会おんがくかい」です。

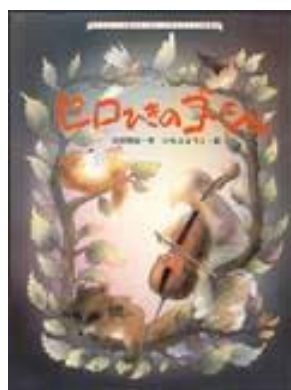
最初は、さいしょ「ふたりはまちのおんがくか」です。やさしくまのアーネストと、かしこくて甘えんぼの
コネズミのセレスティーヌが、いっしょに暮くらしています。ふたりは貧乏びんぼうぐらし。屋根やねの雨あまもりを直す
お金かねもありません。町まちでの演奏会えんそうかいをおもいついたセレスティーヌと、とまどうアーネスト…。

次つぎは、「セロひきのゴーシュ」です。活動写真館かつどうしゃしんかんでセロをひく係かかりのゴーシュ。ところが一番いちばんへたなた
め、楽長がくちょうにいじめられていました。落ち込んだゴーシュが、自分おのの小屋こでセロを練習れんしゅうしていると、毎晩まいばん、
動物どうぶつたちがやってきてうるさくセロの指導しどうを始めます…。

最後さいごは、「エミットとかあさんの歌」です。クリスマスがやってきます。カワウソのエミットとおか
あさんは、たがいにプレゼントおもをしたいと思おもっていましたが、かんじんのお金かねがありません。そこで、
たくさん賞金しょうきんがもらえるという、ショーにでる決心けっしんをします。



ふたりはまちのおんがくか
ガブリエル・バンサン 作
もり ひさし 訳
BL出版



セロひきのゴーシュ
宮沢 賢治 作
いもと ようこ 絵
金の星社



エミットとかあさんの歌
ラッセル・ホーバン 作
リリアン・ホーバン 絵
文研出版

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第88号 2014年11月

はたら 働くっていうことは

11月23日は勤労感謝の日です。もともとは、秋に穀物（お米や麦など）がたくさん実ったことに感謝するということから始まった、古い起源をもつ日です。たくさんの人たちが働いて、社会が成り立っています。みなさんは、大人になったら、どんな仕事をしたいですか？ 今月のテーマは「働くっていうことは」です。

最初は、「オリバーくん」です。オリバーくんは、おしばいの大好きなフクロウの子ともです。お父さんは医者か弁護士になったら、と言い、お母さんは、役者になったら、と言います。さてオリバーくんは、大きくなって何になったでしょうか？

次は、「あたまにつまった石ころが」です。切手にコイン、人形やジュースのふた。みなさんも集めたこと、ありませんか？ 私の父は石を集めていました。まわりの人たちは言いました。「あいつは、ポケットにもあたまのなかにも、石ころがつまっているのさ」たしかにそうなのかもしれません。

最後は、「おとうさんの庭」です。昔あるところに、ひとりの農夫が住んでいました。農夫は、こころのあたたかい人でした。動物たちをかわいがり、ひよこや子ぶたや子牛が育っていくのを見るのが、なによりの楽しみでした。ある春のこと、農夫は畑に種をまきましたが、ちっとも雨が降りません…。



オリバーくん
ロバート・クラウス 文
アルエゴ、テュウェイ 絵
ほるぷ出版



あたまにつまった石ころが
キャロル・ハースト 文
スティーブソン 絵
光村教育図書



おとうさんの庭
ポール・フライシュマン 文
イバトゥリー 絵
岩波書店

「おまめちゃん」

巡回学級文庫通信 第89号 2014年12月

パーティー

12月になると、なんだかわくわく・ドキドキしてきます。となりのおしゃれなおねえさんは、♪恋人がサンタクロース～と歌い、おじさんは、♪日本全国どこへ行っても酒が飲めるぞ～と歌います。子どもだって、大人だって、よくがんばった1年の終わりに、うんと楽しまなくっちゃ！今月のテーマは「パーティー」です。

最初は、「ルルとララのクリスマス」です。メープルストリートにクリスマスがやってきます。ルルとララは、シュガーおばさんから、クリスマスのお菓子を教えてもらうことに…。クリスマスのお菓子の簡単レシピがもりだくさんの楽しいお話。

次は、「くまのこミンのクリスマス」です。今年のプレゼントはいったいなんだろう。サンタのおじさんがちょっぴりこわいミン。クリスマスイブの夜はドキドキしながら過ごします…。

最後は、「クリスマスのおかいもの」です。もみのきマンションに住むうさぎのはなちゃんたちは、クリスマスプレゼントを買いに、お客さんでいっぱいのお店街に出かけます…。クリスマスのキラキラした気持ちを描いた楽しい絵本です。



ルルとララのクリスマス
あんびる やすこ 作

岩崎書店



くまのこミンのクリスマス
あいほら やすこ 文
あだち なみ 絵
ソニー・マガジンス



クリスマスのおかいもの
たしろ ちさと 作

講談社

「おまめちゃん」

じゅんがいかっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第90号 2015年1月

ことしはひつじ年

あけましておめでとうございます。ことしはひつじ年としですね。ひつじいとしろ言えば、白くて、ふわふわ、もこもこなしてじついて、「メー」とし鳴どうぶついて……。実はあまりよく知らない動物です。たくさんいと、みんなおな同じに見えちゃうみような。ところが本ほんの中なかのひつじは、思おもわず笑わらっちゃうほど、とこっても個こせいてき性的なんですよ。今こんげつ月のテーマは「ひつじ」です。

最初さいしょは、「ねむれないひつじのよる」です。あるばんのこと、ひつじのウーリィはちっともねむれないので、散歩さんぽに出でかけました。出で会あったのは、1羽わのちょう、2匹ひきのてんとうむし、3羽わのふくろう……。それから、まどのたくさんあるいえで、絵えをかいたり、りょうりをしたり、おふろにはいったり…。

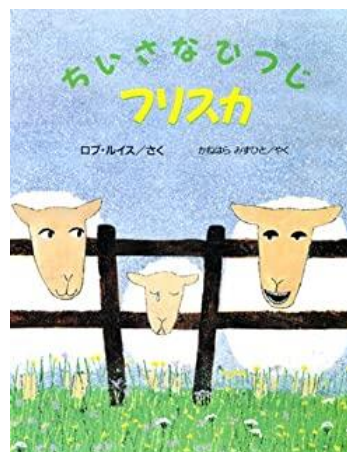
次つぎは、「ちいさなひつじfrisca」です。小ちいさなひつじのfriscaは、小ちいさいためにないつも仲なか間にばかにされ、悲かなしくたまりません。からだを大おおきくみせようとするのですが、どれもうまいきません。そんなある日ひ、おななかをすかせたオオカミがやってきて…。

最後さいごは、「こひつじクロ」です。「ああ、ぼくもしろ白しろくなりたいなあ…。」まっつしろ白いひつじのむれのなか、1匹ひきだけ黒くろくて小ちいさなクロは、いつも思おもっていました。しっかりものばんけんの番犬ポロも、クロのことが目めざわりでしかたがありません。でも、ある日ひとつぜんあらしひどい嵐あらしがやってきて…。



ねむれないひつじのよる
きたむら さとし 作

小峰書店



ちいさなひつじfrisca
ロフ・ルイス 作
かねはら みずひと 訳
ほるぷ出版



こひつじクロ
エリザベス・ショー 作
ゆり よう子 訳
岩崎書店

「おまめちゃん」

じゅんがいかつきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第91号 2015年2月

ゆきだるま

さむい日が続きますね。2月は1年のうちで、もっともさむい季節だと言われていますが、

今年は12月からずーっとさむかった（／＼）。山を見るとてっぺんはまっ白。ゆきがつもっているのかな。ゆきの日にはやっぱりゆきだるま！今月のテーマは「ゆきだるま」です。

最初は、「ゆきだるまはよるがすき」です。朝見ると、きのう作ったゆきだるまの口がまがっていたりするのはなぜだと思う？ ゆきだるまの秘密がのぞける、すばらしい夜の世界へ行きましょう。絵のなかに、ねこやサンタがかくれているよ。さがしてみてね！

次は、「やさしいゆきだるま」です。パウリーナとフェリックスは、ゆきだるまをつくりました。わたらの髪の毛をつけてお父さんの帽子をかぶせる。目は石炭、鼻はにんじん、口は木の皮を切って作り、手には大きなほうき。とてもすてきなゆきだるまになりました。

最後は、「こうくとちいさなゆきだるま」です。たくさんゆきがつもった日、こうくんはちいさなゆきだるまを作りました。その夜、こうくんは、ゆきだるまに手足が生え、とことこ歩いていくのを見ます。こうくんはゆきだるまに誘われ、いっしょにバスに乗って、ある場所へと向かいます。



ゆきだるまはよるがすき
ビーナー 作
せな あいこ 訳
評論社



やさしいゆきだるま
シュティッヒ 作
那須田 淳 訳
ひくまの出版



こうくとちいさなゆきだるま
はせがわ さとみ 作
小学館

「おまめちゃん」

じゅんがいかっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第92号 2015年3月

不思議・わくわく・ドキドキ

「ラッスンゴレライ！ラッスンゴレライ！」と言いながら歩いている人を見かけたら、「ちょっと待ってちょっと待ってお兄さん。ラッスンゴレライてなんですか？」って聞きたくなりますよね。世の中には、不思議なこと・わくわくすること・ドキドキすることがいっぱいあります。つまらないとか、ピミョーとか、ダサイとか言っただけでじっと動かないでいるよりも、「知りたいな」「おもしろい」という気持ちを大事にしていきましょう！で、「ラッスンゴレライ」ってなんですか？

最初は、「じつはよるのほんだなは」です。夜の本だなを見たことがありますか？ じつは、本からさし絵の動物や登場人物が飛びだして大さわぎ。見張りの犬張子のこたろうがいねむりをしてしまったので、自分の本に戻らないさし絵がいて…。

次は、「ぼとんぼとんはなんのおと」です。野原に山に雪がふりつもりました。冬ごもりの穴の中、くまの母さんはふたごのぼうやを産みました。おっぱいのはくうくうねむって、ぼうやは大きくなりました。ある日ぼうやはたずねました。「かーん かーんって音がするよ？なんの音」すると母さんが答えました。

最後は、「さかなにはなぜしたがない」です。川にいるさかなをみて、くまの子ウーフはさかなになる修行をはじめました。いきをとめて、「一、二、三、四、五・・・」くるしーい。なみだがでます。



じつはよるのほんだなは
澤野 秋文 作

講談社

ぼとんぼとんはなんのおと
神沢 利子 作
平山 英三 絵

福音館書店

さかなにはなぜしたがない
神沢 利子 作
井上 洋介 絵

ポプラ社

「おまめちゃん」

じゅんがいかっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第93号 2015年5月

ブックトークのすすめ

ブックトークとは、1つのテーマにそって、いろいろな本を紹介することをいいます。

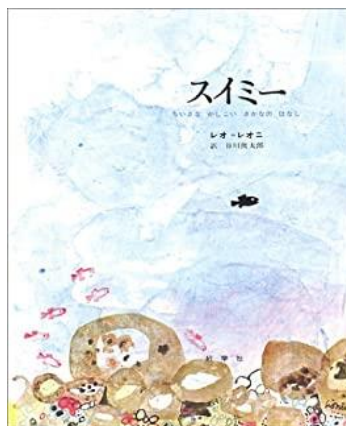
かなんちょうりつちゅうおうこうみんかんとしよしつ ししよ としよしつ ほん なか
河南町立中央公民館図書室の司書が、図書室の本の中から、みなさんに読んでほしいなど

おも と あ こんげつ
思うものを取り上げていきます。今月のテーマは「はじめよう」です。

さいしよは、「これならおとくいジェラルディン」です。ジェラルディンは、ふくろねずみの女の子。おてだま遊びが大好きなのに、おけいこに通うことに。でも、バレエもはたおりもちょうこくも、どれもうまくいなくてがっかり。そんな彼女に、弟たちはとくいなものを教えてあげます。いったい何がおとくいなのかな？

つぎは、「スイミー」です。小さな黒いさかなスイミーは、広い海でなかまと暮らしていた。ある日、なかまたちがみんな大きなさかなに食べられてしまい、一匹のこったスイミーはとてもさびしかった。けれど、海にはすばらしいものがいっぱいあった。

さいごは、「たったひとりの戦い」です。その昔、なが戦争があったときのこと。あお国の王子ファビアンは、となりの国との戦争をきらったため、父王の怒りをかい、追放の身になった。国を追われたファビアンが、戦争を終わらせるためにひとりでおこした戦いとは・・・。



これならおとくいジェラルディン
コンフォード 文
ラレック 絵
岸田 衿子 訳
リブリオ出版

スイミー
レオ・レオニ 作
谷川 俊太郎 訳
好学社

たったひとりの戦い
ヴォージュラード 作・絵
平岡 敦 訳
徳間書店

「おまめちゃん」

巡回学級文庫通信 第94号 2015年6月

ねこ大活躍

ねこを飼っている人はいますか？ねこってなんだか人のようです。あくびをしたり、ひるねをしたり、いつものんびりしているように見えます。でも本の中にいるねこは、しゃべったり、働いたりとおおそが、今月のテーマは「ねこ大活躍」です。

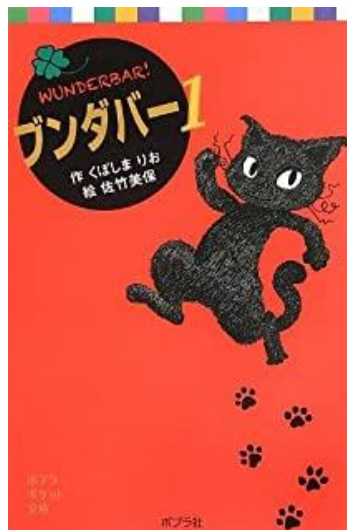
最初は、「85パーセントの黒猫」です。100パーセントのかんぺきさでドレスを仕上げるおさいほう魔女のシルクと、85パーセントしか黒くないめしつかいねこのコットンが出会ったきっかけとは？シルクとコットンのステキな思い出話

次は、「ブンダバー」です。ふるい道具たちはみんな、ひみつをかくしています。古道具屋のおじさんがひろった洋服ダンスに、かくされていたものは、「ブンダバー」という名前の、ことばをしゃべるねこでした…。

最後は、「またたびトラベル」です。迷路のように続く細い路地のつきあたりに、おんぼろな木造の2階建てアパートがあります。このアパートの名前は、またたび荘。1階に小さな旅行会社があります。またたびトラベルです。ちょっと変わった会社のように。



85パーセントの黒猫
あんびるやすこ 作
岩崎書店



ブンダバー
くぼしまりお 作
佐竹 美保 絵
ポプラ社



またたびトラベル
茂市 久美子 作
黒井 健 絵
学習研究社

「おまめちゃん」

じゅんがいかつかきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第95号 2015年7月

なつ
夏がくる！

なつ 夏がくるよー。あつ なつ 暑い夏がくるよー。おいしいなつ 夏がくるよー。スイカにかきごおり 氷、そうめんにとうもろこし、なつやさい 夏野菜のカレーもね！うみ い 海に行ったり、やま い 山に行ったり、キャンプに行ったり。たの 楽しいことがいっぱいなのつ 夏がくるよー。こんげつ 今月のテーマは「なつ 夏がくる！」です。

さいしょ 最初は、「なつのおとずれ」です。「つゆあ 梅雨明けはもうすぐでしょう」とつた 伝えるかたつむりのてんきよほう 天気予報。それを見たみ 太陽は「み たいよう そろそろみんなに知らせますか」とたちあ 上がった。そのけはいかん 気配を感じたスイカ、セミ、かきごおり 氷たちが、いっせいにはしりだ 走り出した！

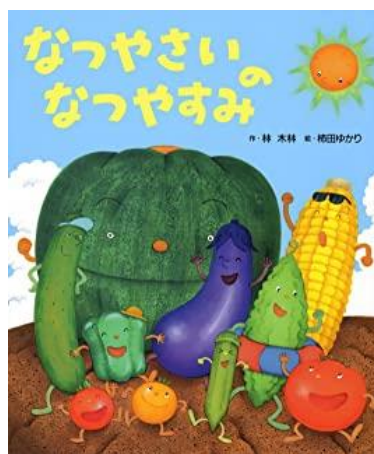
つぎ 次は、「なつやさいのなつやすみ」です。なつ はたけ なつやす 夏の畑に夏休みがやってきました。なすくん、オクラくん、とうもろこしくん、ゴーヤくん。なつやさい 夏野菜たちが、はたけひろば 畑広場にあつまって、なつやす 夏休みにプールに行くさうだん 相談をはじめました。

さいご 最後は、「なつねこ」です。なみこはふうりん おと だいき 風鈴の音が大好きでした。なつ ゆうぐ 夏の夕暮れ。なみこは、にわ 庭のむこうからやってきたちい 小さなねこに、ふうりん 風鈴づくりを見にいこうと誘われます。



なつのおとずれ
かがくいひろし 作

PHP



なつやさいのなつやすみ
林 大林 作
柿田 ゆかり 絵
ひかりのくに



なつねこ
かんのゆうこ 作
北見 葉胡 絵
講談社

「おまめちゃん」

じゅんがいかっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第96号 2015年9月

あいさつ

おはよう。ひさしぶりー。元気だった？夏休みが終わって、2学期が始まりました。みんなとまた会えて、きつとこんな「あいさつ」をしたでしょうね。元気だった？とお互いに言い合えることが、とても大切なことなんですよ。♪僕らはもう一人じゃない♪※という歌もありますよね。今月のテーマは「あいさつ」です。※RPG、セカイノオワリ

最初は、「世界のあいさつ」です。いま、おじぎをしてしまったけど、どうして、こんなことをするんだらう。考えてみれば、おかしいよね、世界の人は、どんなふうにあいさつをしているんだらう。よし、調べてみよう。

次は、「おひさまやのおへんじシール」です。うさぎのお店「おひさまや」には、虹色に輝くバケツなど、不思議なものが置いてあります。ひとり暮らしのおばあさんに、うさぎがすすめたのは、呼べば返事をしてくれるという「おへんじシール」でした。

最後は、「モンスター・ホテルでこんばんは」です。モンスターのおせわをするのは透明人間のトオルさん、ただひとり。大忙し。そんな時、210号室のドアが開かなくなって…。



世界のあいさつ
長 新太 作
野村 雅一 監修
福音館書店



おひさまやのおへんじシール
茂市 久美子 作
よしざわけいこ 絵
講談社



モンスター・ホテルでこんばんは
柏葉 幸子 作
高島 純 絵
小峰書店

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第97号 2015年10月

まつ お祭り

秋です。そろそろだんじり祭りの準備がはじまり、そわそわワクワクしている人もいる
のではないのでしょうか？秋はお祭りがたくさんあります。ゆたかに実った農作物の収穫を
農耕の神さまに感謝してお供えし、地域の人々でごちそうを食べて一緒にたのしみます。

こんげつ
今月のテーマは「お祭り」です。

最初は、「まつり」です。知と技で伝えてきた「日本のこころ」の結晶である、まつり。日本にやっ
てきたパリの植物学者を、少女さえらが地元のおまつりに案内する。準備の風景や彫刻屋台のみごと
な装飾に期待は高まる。そしてまつりがはじまったー。

次は、「アルバートの感謝祭」です。いよいよ、感謝祭の日がやってきました。ここ動物谷の小学校で
もPTAによるお祭りが計画されています。はたらき者のアヒルのアルバートもお手伝い。PTA会長の
パトシーさんからのお手伝いの手紙が届くたびに、アルバートは大忙し。

最後は、「おまつりのねがいごと」です。今日は村のお祭りの日。もみの木マンションにすむなかよ
しの4人は、お祭りの会場へと向かいました。みんなでおいしいパイを食べて、回転木馬に乗って。そ
してランタンに火をともし、4人がしたおねがいごととは…。



まつり
いせ ひでこ 作

講談社



アルバートの感謝祭
レスリー・ライオン 作

川端 誠 訳

BL出版



おまつりのねがいごと
たしろ ちさと 作

講談社

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第98号 2015年11月

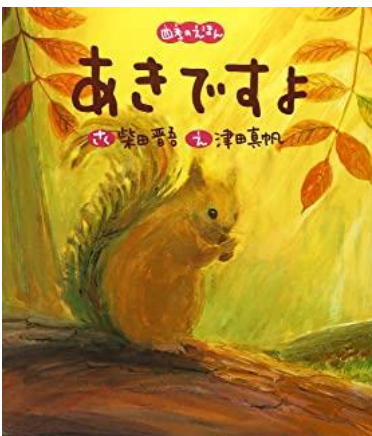
あきいろ
秋はなに色？

だんだん秋が深まってきました。秋は華やかな色にあふれています。もみじの赤、いち
ようの黄色、どんぐりの茶色。新米のピカピカの白色、さつまいもや栗のほっこりとした
こがねいろ きんま ぎんいろ みどりいろ なべ ゆげいろ こんげつ
黄金色、秋刀魚の銀色、すだちの緑色。そろそろお鍋のおいしそうな湯気の色。今月の
テーマは「秋はなに色？」です。

さいしょは、「あきですよ」です。秋が来ました。山、海、川、田んぼ、公園…。いろんな場所に目を向けて、
そっと耳をすませてみると、さまざまな発見に出会います。秋の訪れを喜んでいる生きものたちを
見つけてみませんか？

つぎは、「おちばひらひら」です。秋ってどんな色なんだろう？さわがにのちよきたんは、まだ秋を
知りません。ちょうちょは黄色だというし、赤とんぼは赤だというし…。ちよきたんは、岩の上で秋を
待って、たしかめることにしました。

さいごは、「つるばら村の洋服屋さん」です。つるばら村の「ひまわり洋品店」には、洋服、バッグ、
アクセサリ、糸やボタンなど、すてきな品々がならんでいます。ある日、ひとりの若者がやってきて、
木の葉のブローチをおいていきました。



あきですよ
柴田 晋吾 作
津田 真帆 絵
金の星社



おちばひらひら
久保 秀一 写真
七尾 純 文
偕成社



つるばら村の洋服屋さん
茂市 久美子 作
柿田 ゆかり 絵
講談社

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だいごう ねんがつ
巡回学級文庫通信 第99号 2015年12月

しずかな^{ほん}本

だんだん^{さむ}寒くなってきました。もう 12^{がつ}月です。いつも ^{いそが}忙しくしているけれど、12^{がつ}月はずっと ^{いそが}忙しくなるような気がします。忙しいという字は、^{いそが}心^じが^{こころ}亡^なくなるという^{かたち}形できています。だからこそ、ゆっくり、しずかな^{ほん}本^よを読む^{じかん}時間^{つく}を作りたいですね。今^{こんげつ}月のテーマは「しずかな^{ほん}本」です。

最初は、「よあけ」です。しんとしずまりかえった、うごくものがない夜明け前の湖のほとり。おじいさんと孫^{まご}が、毛布^{もうふ}にくるまって寝^ねています。すると、いっしゅんの風^{かぜ}でさざ波^{なみ}が立ち、すべてが動^{うご}きだします。

次は、「12月^{がつ}通り 25番^{ばん}地」です。ひとりの女^{おんな}の子^こが、さびしい12月^{がつ}通りで見^みつけた店^{みせ}には、見たことのないほどたくさんのおもちゃがありました。さがしている贈^{おく}りものも見^みつかるはず。でもそこには、もうひとりの客^{きやく}が…。不思議^{ふしぎ}で美しいクリスマスのおはなし。

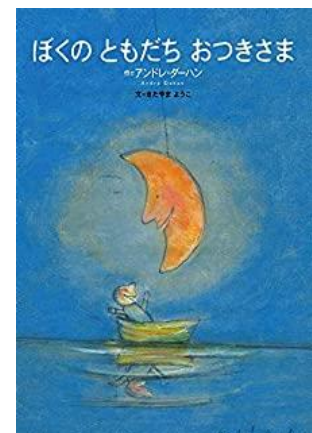
最後は、「ぼくのともだちおつきさま」です。気がつくときみがいた。思いがけない出^で会^あい。こんなにどきどきしたのははじめて、こんなにわくわくしたのははじめて。きみを僕^{ぼく}のう^{うち}ちに連^つれていこう。月^{つき}と僕^{ぼく}とのすてきなめぐりあい。



よあけ
シュルヴィッツ 作・画
瀬田 貞二 訳
福音館書店



12月通り 25番地
ヘレン・ウォード 作
岡田 淳 訳
BL 出版



ぼくのともだちおつきさま
アンドレ・ダーハン 作
きたやま ようこ 文
講談社

「おまめちゃん」

じゅんかいがっきゅうぶんこつうしん だい 100 号 2016 年 1 月
巡回学級文庫通信 第100号 2016年1月

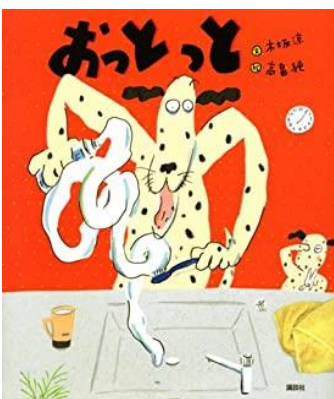
わらうかど ふくき
笑う門には福来たる

あ 明けておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。みんな、よい年であり
ますように。いつもにこやかに笑っている人の家には、自然に幸福がやって来る、とい
うことわざがあります。今月は、クスツと笑っちゃう本の紹介です。

さいしょは、「おととと」です。犬の父さんおととと、会社にちこくだおととと、自転車こぎこぎ
おととと、急げや急げおととと。犬の父さんの1日を追いながら、がちょうやさる、かめ、ペンギン
など、いろいろな動物の「おととと」な場面を、ユーモアいっぱいに描きます。

つぎは、「うどんのうーやん」です。うどん屋さんが人手不足のため、自分で出前にいかなければなら
ない、うどんのうーやん。気のいいうーやんは、お腹をすかせたねこにうどんをあげたり、メザシや梅干
をおつゆに入れてしまいますが…。

さいごは、「ありんこぐんだん」です。おさとうをこぼしたら、いけないよ。ひとつぶだって、いけな
いよ。なぜならなぜなら、ありんこぐんだんやって来る。そろそろそろそろやって来る。野をこえ山こえ、
無人島にも宇宙のはてにもやって来る。



おととと
木坂 涼 文
高島 純 絵
講談社



うどんのうーやん
岡田 よしたか 作
フロンズ新社



ありんこぐんだん
武田 美穂 作
理論社